

# CsvDocumenter<sup>®</sup>

## 利用マニュアル

マイクロソフト社

Excel 版



株式会社 **R&Dソフトウェア**

〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋四丁目13番7号 nabi金山 401  
TEL 052-331-3371 URL <http://www.rdssoftware.net>

# 目次

項番	作業の手順と利用方法	機能と概要	頁
	はじめに		
1.	CSV・テキストの分析	項目位置と出力側の名標との関係を設定	1
2.	帳票設計	処理する帳票のレイアウト設計と名標（ラベル）の設定	3
3.	処理の定義その 1	帳票を作成するための入出力に係る処理手順を定義する	5
4.	処理の定義その 2	CSV の項目と出力名標（ラベル）との関係を定義する	7
5.	実行時の設定	バッチ処理を行うための定義方法	10
6.	ログ出力の設定	ログ出力の定義方法	13
7.	実行結果	処理後の結果サンプル	14
8.	実行結果ログ	処理ログの参照	18
9.	帳票作成サンプル 1		資料

# はじめに

## Office2007 Excel版 CsvDocumenter

AS400・オフコン・ERPのデータを簡単に帳票化

R&D Software Reporting Solution



### CsvDocumenter

- CSVファイル
- 帳票雛型(Excel)
- 定義ファイル(Excel/XML)
- 出力帳票(Excel)

#### 特徴 1

CSV形式のデータとマウスを利用した簡単な処理設定だけで帳票を作成できます

#### 特徴 2

帳票設計をExcelで作成でき、数式や罫線、グラフ等の機能を活用できます

#### 特徴 3

帳票レイアウトの修正が簡単です  
必要時にExcelの帳票定義を変更できます

#### 特徴 4

ワードアート、スマートアート、テキストへの出力も可能です

#### 特徴 5

並べ替えや集計、改ページが簡単な条件設定で対応可能です

### CsvDocumenterを利用するメリット

- ①現在ご利用のシステムに不足している帳票をCSVデータからお客様ご自身で作成・編集できるソフトウェアです
- ②オフコンやパッケージソフトなどカスタマイズが難しいシステムで簡単にお客様オリジナルの帳票作成が可能です
- ③帳票設計はExcelで行い処理の定義はExcelまたはDocumenterStudioで行います。システム開発のスキルは不要です
- ④画像やオートシェープ、多彩なグラフやフォント等、Excelの機能を活用して帳票を作成することができます
- ⑤並べ替えや集計、改ページを簡単な設定で処理できます。プログラム言語やSQL言語等のスキルは不要です

### CsvDocumenterの特徴と利用方法

- ・処理の定義はExcelまたはDocumenterStudioで行います。帳票設計はExcelを利用します
- ・レイアウトの変更等は設計した帳票雛型のExcelファイルを修正するだけで即時に反映されます

#### CSVデータ

1800.01.北海道 275681 280179 5573959  
1800.02.青森 725250 788406 1522756  
1800.03.岩手 688373 733429 1421882  
1800.04.宮城 1024842 1075885 2000728  
1800.05.秋田 603250 625214 1293804  
1800.06.山形 605401 646508 1251808  
1800.07.福島 880481 1044654 2035145  
1800.08.茨城 1272116 1295384 2567400  
1800.09.栃木 982592 980429 1751779  
1800.10.群馬 908225 938684 1846489  
1800.11.埼玉 1729485 2003080 3418845  
1800.12.千葉 2280207 2250885 4731202  
1800.13.東京都 4843608 4796431 11962911

CSVデータを準備

#### 処理の定義(Excel/XML)

AssignPartTo/O	FileName	SheetName	CSVEncoding
InputExcelFile	testdata.xlsx	test	
OutputExcelFile	OutputTest.xlsx		
InputCSVFile	sample_data.csv		

OutputLabelName	CSVColumnNo	ColumnType	PageBreakFlag	AscSort	DescSort
syvmei	[0]	string	1		
kingoku	[1]	string			
hachiryaku	[2]	string			
no	[3]	string			
date	[4]	string			

処理の定義ファイルをExcel等で設定

#### 帳票雛型



帳票レイアウトをExcelで設計

#### 出力帳票

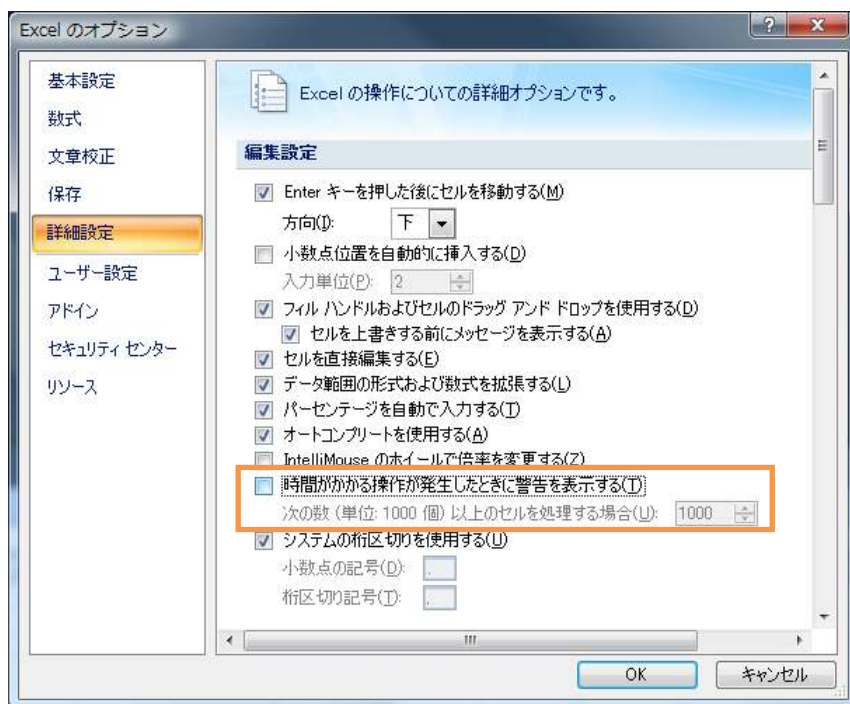


帳票出力完了!

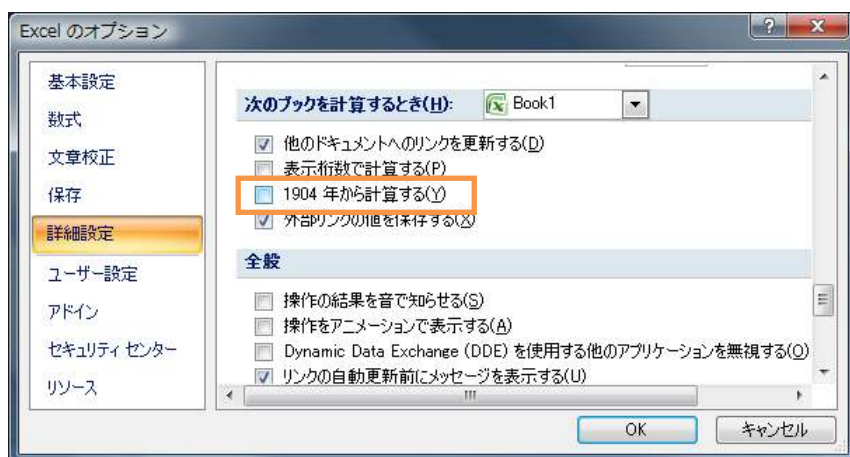
# CsvDocumenter を利用する際の Excel 帳票設計について

- ・データ量の多い帳票を作成する場合の設定  
(Excel ファイル全体に対する設定)

- ①Excel を開く
- ②Office ボタンをクリックする
- ③Excel のオプションボタンをクリックする
- ④詳細設定を選択する
- ⑤「編集設定」の「時間がかかる操作が発生したときに警告を表示する」のチェックを外す



※Excel 帳票を設計する際「次のブックを計算するとき」の「1904 年から計算する」のチェックを入れると日付が正しく表示されない為チェックは入れないでください



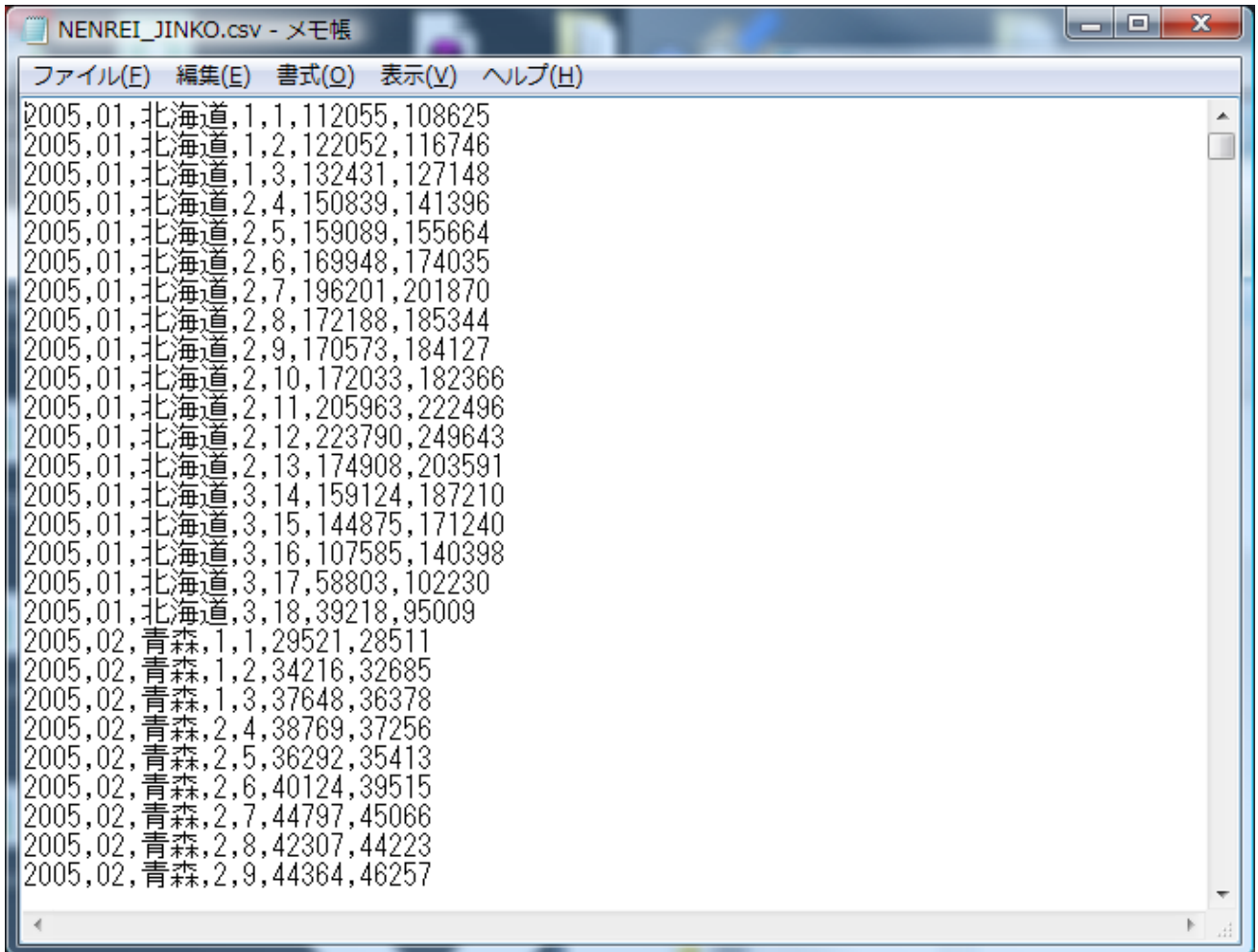
# 1. CSV・テキストの分析

## 1. CSVデータの内容を確認する

本ソフトウェア「CsvDocumenter」を利用して帳票を作成する場合、以下のようなCSVデータの項目位置とデータの内容を明確にしておく必要がある。項目位置は先頭位置を1とし「[] (半角角括弧)」で囲み[1]のように記述する。(カラム番号)

以下にCSVデータの例を示す。

なお、CSVデータのファイルレイアウトを明記したドキュメントがあればそれを活用されたい。



## 2. CSVデータの項目位置と内容を確認する (CSVデータ1行目の場合)

[1]: 年度 → 2005

[2]: 都道府県コード → 01

[3]: 都道府県名 → 北海道

[4]: 年齢区分1 → 1

(1: 0~14歳    2: 15~64歳    3: 65歳以上)

[5]: 年齢区分2 → 1

(1: 0~4歳    2: 5~9歳    3: 10~14歳    4: 15~19歳    5: 20~24歳    6: 25~29歳    7: 30~34歳

8: 35~39歳    9: 40~44歳    10: 45~49歳    11: 50~54歳    12: 55~59歳    13: 60~64歳

14: 65~69歳    15: 70~74歳    16: 75~79歳    17: 80~84歳    18: 85歳以上)

[6]: 人口 (男) → 112055

[7]: 人口 (女) → 108625

## 【データがテキスト（タブ区切りの場合）】

### 1. テキスト（タブ区切り）データの内容を確認する

本ソフトウェア「CsvDocumenter」を利用して帳票を作成する場合、以下のようなテキストデータの項目位置とデータの内容を明確にしておく必要がある。項目位置は先頭位置を1とし「[]（半角角括弧）」で囲み[1]のように記述する。（カラム番号）

以下にテキストデータの例を示す。

なお、テキストデータのファイルレイアウトを明記したドキュメントがあればそれを活用されたい。

2005	1	北海道	1	1	112055	108625
2005	1	北海道	1	2	122052	116746
2005	1	北海道	1	3	132431	127148
2005	1	北海道	2	4	150839	141396
2005	1	北海道	2	5	159089	155664
2005	1	北海道	2	6	169948	174035
2005	1	北海道	2	7	196201	201870
2005	1	北海道	2	8	172188	185344
2005	1	北海道	2	9	170573	184127
2005	1	北海道	2	10	172033	182366
2005	1	北海道	2	11	205963	222496
2005	1	北海道	2	12	223790	249643
2005	1	北海道	2	13	174908	203591
2005	1	北海道	3	14	159124	187210
2005	1	北海道	3	15	144875	171240
2005	1	北海道	3	16	107585	140398
2005	1	北海道	3	17	58803	102230
2005	1	北海道	3	18	39218	95009
2005	2	青森	1	1	29521	28511
2005	2	青森	1	2	34216	32685
2005	2	青森	1	3	37648	36378
2005	2	青森	2	4	38769	37256
2005	2	青森	2	5	36292	35413
2005	2	青森	2	6	40124	39515
2005	2	青森	2	7	44797	45066
2005	2	青森	2	8	42307	44223
2005	2	青森	2	9	44364	46257

### 2. テキストデータの項目位置と内容を確認する（テキストデータ1行目の場合）

[1]: 年度 → 2005

[2]: 都道府県コード → 1

[3]: 都道府県名 → 北海道

[4]: 年齢区分1 → 1

(1: 0～14歳 2: 15～64歳 3: 65歳以上)

[5]: 年齢区分2 → 1

(1: 0～4歳 2: 5～9歳 3: 10～14歳 4: 15～19歳 5: 20～24歳 6: 25～29歳 7: 30～34歳

8: 35～39歳 9: 40～44歳 10: 45～49歳 11: 50～54歳 12: 55～59歳 13: 60～64歳

14: 65～69歳 15: 70～74歳 16: 75～79歳 17: 80～84歳 18: 85歳以上)

[6]: 人口 (男) → 112055

[7]: 人口 (女) → 108625



## 2. 帳票設計

帳票のレイアウトを作成し出力項目に名標（ラベル）を設定する ※名標は数字のみ（数値型）の設定は不可とする

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled '年齢性別一覧.xlsx'. The table has columns for age groups, total population, male population, male ratio, female population, and female ratio. Annotations 1 through 4 point to specific cells where labels are being set.

年齢	人口総数	人口 男	比率 男	人口 女	比率 女
0～4	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
5～9	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
10～14	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
15～19	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
20～24	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
25～29	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
30～34	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
35～39	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
40～44	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
45～49	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
50～54	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
55～59	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
60～64	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
65～69	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
70～74	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
75～79	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
80～84	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
85～	#VALUE!	JINKO_M	PER_JINKO_M	JINKO_F	PER_JINKO_F
合計	#VALUE!	0	#VALUE!	0	#VALUE!

① 名標：NENDO (Excel「セルの書式設定」→「表示形式」→「ユーザー定義」→「@ “ 年度 ”」設定)

② 名標：TODOFUKEN\_MEI

③ 名標：JINKO\_M, JINKO\_F (Excel「セルの書式設定」→「表示形式」→「通貨」設定)

④ 名標：PER\_JINKO\_M, PER\_JINKO\_F

(Excel「セルの書式設定」→「表示形式」→「パーセンテージ」→「小数点以下の桁数：1」設定)

① Excel 数式・書式設定 (数式：人口 男 + 人口 女 書式：「セルの書式設定」→「表示形式」→「通貨」設定)

② Excel 数式・書式設定 (数式：各列の合計 書式：「セルの書式設定」→「表示形式」→「通貨」設定)

③ Excel 数式・書式設定 (数式：合計 人口 男 ÷ 合計 人口総数 数式：1 - 合計 比率 男)

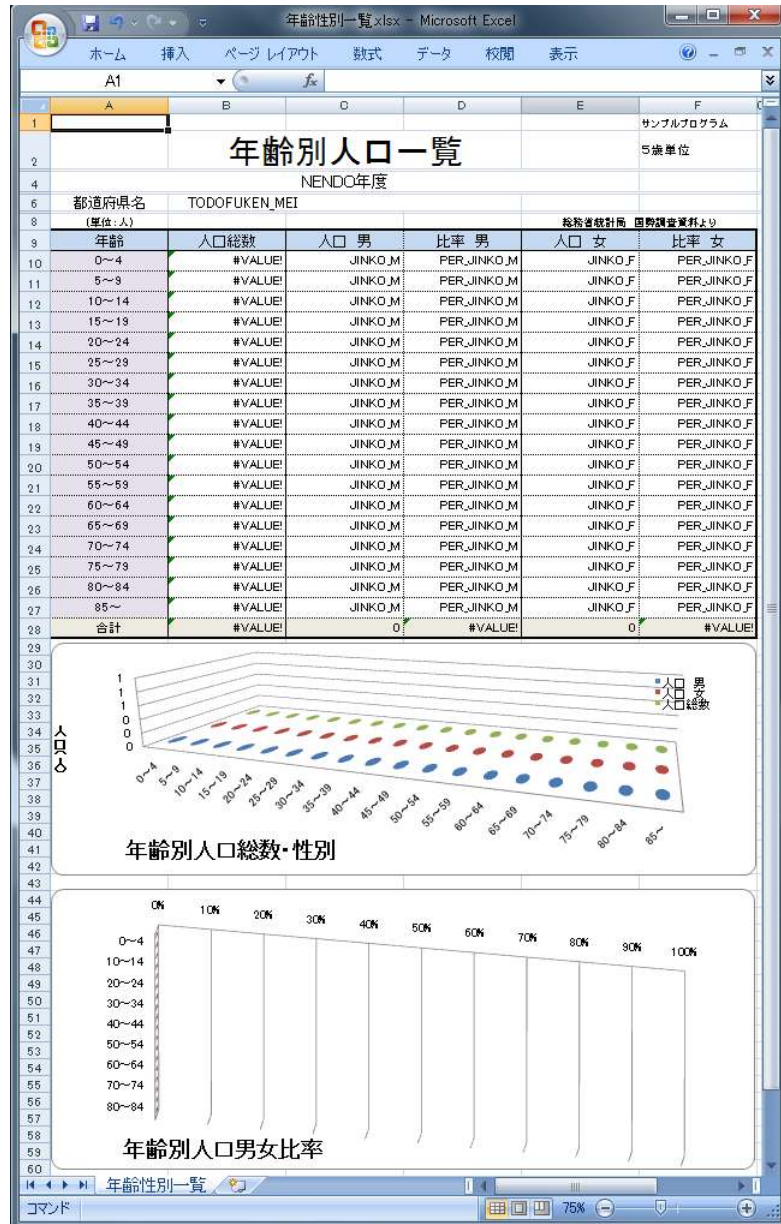
書式：「セルの書式設定」→「表示形式」→「パーセンテージ」→「小数点以下の桁数：1」設定)

※CSV データに改行がある場合は表示するセルに書式設定をする必要がある

設定方法：「セルの書式設定」→「配置」→「文字の制御」→「折り返して全体を表示する」にチェックを入れる

①帳票の設計時には必ず印刷範囲を設定しページの領域を明示すること

②頁の範囲が明確でない場合は強制的に100行目をシステムが強制的に設定するので留意されたい



※印刷範囲の設定は印刷範囲を選択し「ページレイアウト」→「印刷範囲」→「印刷範囲の設定」で印刷範囲を設定すること



複数シート作成した場合は各シート印刷範囲の設定を行う

#### ■ファイルの保存

Excel2007 形式(xlsx)で保存します。Excel2007 であれば標準で、Excel2000-2003 であれば、Excel2007 ブック(xlsx)で保存します。

※Excel2000-2003 でExcel2007 ブックの保存ができない場合は、「Microsoft Office 互換機能パック」をインストールすることで対応可能になります。MS のサイトよりダウンロードしインストールしてください。

レポート雛形ファイルを保存します。ファイル名、シート名、ラベル名を記憶しておきます。



# 3. 処理の定義その1

## 入出力の定義

Excel 定義ファイルの「IOFile」シート

	A	B	C	D	E	F	G
1	AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag	SpecialLineFeedCharacter
2	InputExcelFile	年齢性別一覧.xlsx	年齢性別一覧	18			
3	InputCSVFile	¥csv¥NENREI_JINKO.csv					
4	OutputExcelFile	output¥Output<date><time>.xlsx					
5	OutputPdfFile	output¥Output<date><time>.pdf					
6	OutputXPSFile	output¥Output<date><time>.xps					
7	OutputPrinter	DocuWorks Printer					
8	OutputExcel2003File	output¥Output<date><time>.xls					

## FileName

Assain Part To I/O	設定内容
1. InputExcelFile	帳票の雛型 (Excel 2007形式 (xlsx) で作成したもの) のファイル名
2. InputCSVFile	入力データが入っているCSVファイル名 ※※ 例: ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダの1階層上位にある「csv」フォルダの中の「NENREI_JINKO.csv」(CSVファイル名) (「..¥」でバッチファイルが格納されているフォルダの1階層上位を指定することができる)
3. OutputExcelFile (入力は任意の項目)	帳票の雛型を利用してデータを組み込んで出力するファイル名 (入力は任意の項目) ※※ 例: output¥Output<date><time>.xlsx CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダ内の output フォルダの中に「Output + 日付 (8桁) + 時間 (8桁)」のファイル名でExcel ファイルを出力する
4. OutputPdfFile (入力は任意の項目)	PDFで出力する場合に指定するファイル名 (入力は任意の項目) ※※ 例: output¥Output<date><time>.pdf CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダ内の output フォルダの中に「Output + 日付 (8桁) + 時間 (8桁)」のファイル名でPDF ファイルを出力する
5. OutputXPSFile (入力は任意の項目)	XPSで出力する場合に指定するファイル名 (入力は任意の項目) ※※ 例: output¥Output<date><time>.xps CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダ内の output フォルダの中に「Output + 日付 (8桁) + 時間 (8桁)」のファイル名でXPS ファイルを出力する
6. OutputPrinter (入力は任意の項目)	直接プリンタに出力する場合に指定するプリンタ名 (ユーザ毎に印刷名は異なる) プリンタ名の後ろに<Copies:部数>を追加することにより、印刷部数の指定が可能 例: DocuWorks Printer<Copies:2> DocuWorks Printer に2部出力する
7. OutputExcel 2003File (入力は任意の項目)	EXCEL2003 で出力する場合に指定するファイル名 (入力は任意の項目) ※※ 例: output¥Output<date><time>.xls CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダ内の output フォルダの中に「Output + 日付 (8桁) + 時間 (8桁)」のファイル名で EXCEL2003 ファイルを出力する

3.4.5.7.の指定するファイル名の後ろに <date> を記述すると日付 (8桁) が追加され、<time> を記述すると時間 (8桁) が追加される  
 ファイル名の後ろに <date> <time> を追加することにより、ユニークなファイル名での出力が可能となる (上書き防止)

出力ファイル名: <date>日付 (8桁)・<time> 時間 (8桁)・<year>年 (4桁)・<month>月 (2桁)・<day>月 (2桁)・<hour>時 (2桁)  
 <minute>分 (2桁)・<second>秒 (2桁)

※4.5.6.7.は「体験版」・「Professional 版」では利用できません

※※ファイル名は相対パスまたは絶対パス (ネットワークアドレスも可) で記述する

相対パスで指定する際、バッチファイルが格納されているフォルダが基本となる

## SheetName (InputExcelFile の行に記述)

帳票雛型の設定されているブック中のシート名を指定する

<CSV データをシート名に指定する場合>

CSV データの項目番号を指定する

例：CSV の 1 番目のデータをシート名に指定する場合 → [1]

## PageRowCount (InputExcelFile の行に記述)

1 ページに出力する行数を指定する

※ページ替えのキーとして指定

## CSVEncoding (InputCSVFile の行に記述)

日本語以外の場合には該当する言語コードを指定する

※中国語の場合は「GB2312」 簡体中国語の場合

## CSVColumnNameFlag (InputCSVFile の行に記述)

CSV ファイルの先頭行に各項目のタイトルが入っている場合に当該行をスキップする

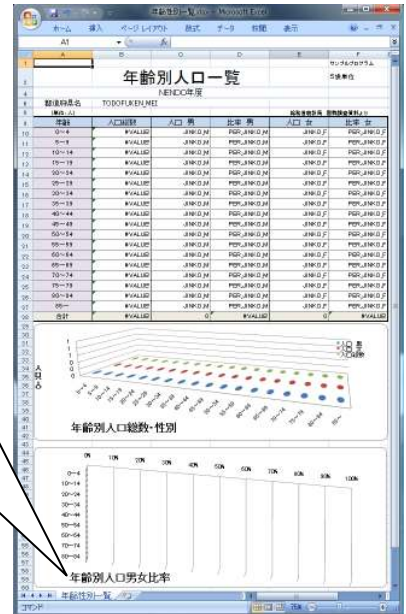
※先頭行がタイトルの場合は「\* (アスタリスク)」を入力する

## SpecialLineFeedCharacter (InputCSVFile の行に記述)

改行コードを指定する

※CSV データに指定した改行コードがある場合は表示するセルに書式設定をする必要がある

設定方法：「セルの書式設定」→「配置」→「文字の制御」→「折り返して全体を表示する」にチェックを入れる



## 【データがテキスト（タブ区切りの場合）】

※InputCSVFileの行をInputTSVFileへ変更する

年齢性別一覧定義.xlsx - Microsoft Excel							
ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示							
A3	InputTSVFile						
1	A	B	C	D	E	F	G
1	AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag	SpecialLineFeedCharacter
2	InputExcelFile	年齢性別一覧.xlsx	年齢性別一覧	18			
3	InputTSVFile	¥tsv¥NENREI_JINKO.txt					
4	OutputExcelFile	output¥Output<date><time>.xlsx					
5	OutputPdfFile						
6	OutputXPSFile						
7	OutputPrinter						
8	OutputExcel2003File						

## FileName

Assain Part To I/O	設定内容
2. InputTSVFile	<p>入力データが入っているテキストファイル名 ※※</p> <p>例：¥tsv¥NENREI_JINKO.txt</p> <p>CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダの 1 階層上位にある「tsv」フォルダの中の「NENREI_JINKO.txt」(テキストファイル名)</p> <p>(「¥」でバッチファイルが格納されているフォルダの 1 階層上位を指定することができる)</p>

# 4. 処理の定義その2

Excel 定義ファイルの「CSVColumnName」シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	OutputLabelName	CSVColumnNo	ColumnExpression	ColumnFilter	ColumnType	FormatString	PageBreakFlag	AscSort	DescSort
1	NENDO	[1]			string		*	1	
2	TODOFUKEN_CD	[2]			string		*	2	
3	TODOFUKEN_MEI	[3]			string				
4	JINKO_M	[6]			decimal				
5	PER_JINKO_M	[6]/([6]+[7])			decimal				
6	JINKO_F	[7]			decimal				
7	PER_JINKO_F	1-([6]/([6]+[7]))			decimal				

※カラム番号は「[]」（半角角括弧）で囲んで記述する

※データの読み込み範囲は2行目より全てのセルが空白の行までとなる（コメント等を入力する際は1行空白の行を入れ、その下の行に入力する）

## OutputLabelName

Excel 帳票の罫型に設定した名標（ラベル） ※名標は数字のみ（数値型）の設定は不可とする

## CSVColumnNo

a. CSVのカラム番号またはカラム番号による加減乗除とカッコによる演算式も設定できる（式は半角で入力する）

### 演算子リスト

演算子	説明	使用例
+	加算	[6] + [7]
-	減算	[6] - [7]
*	乗算	[6] * [7]
/	除算	[6] / [7]

※ColumnType が string（文字列型）の場合、前後に文字の設定が可能

例 [1]年度（[1]のデータが2005の場合） ➡ 2005 年度

b. <sequentialNo>と設定すると、1 から始まる連番を表示することができる

c. ハイパーリンクのアドレス設定

※ハイパーリンクのアドレスを設定する場合は表示するセルにハイパーリンクの設定をする必要がある

設定方法：設定を行うセル上で右クリック「ハイパーリンク」→「ヒント設定」ボタン→「ハイパーリンクのヒントの設定：ヒントのテキスト」に名票（ラベル名）を設定する

## ColumnExpression

カラム番号を指定して集計、平均等の各種関数(Excel 相当の関数) を利用できる (式は半角で入力する)

例 CSV の 6 番目のデータの総和            Sum ( [ 6 ] )

### 関数リスト

関数名	意味	使用可能型
Sum	総和	数値型
Avg	相加平均	数値型
Min	最小値	文字列型 (文字コードで判断) / 数値型
Max	最大値	文字列型 (文字コードで判断) / 数値型
Count	条件に合致する数	文字列型 / 数値型
StDev	標準偏差	数値型
Var	分散推定値	数値型

## ColumnFilter

関数式を実行する場合の集計条件となる C S V のカラム番号      ※ColumnExpression 利用時のみ指定可能

例 CSV の 1・2 番目のデータをグループ化した CSV の 6 番目のデータの総和

ColumnExpression	ColumnFilter
Sum ( [ 6 ] )	[ 1 ], [ 2 ]

※集計条件が 2 つ以上ある場合は「 , (半角カンマ)」区切りで記述する

## ColumnType

string (文字列型) / decimal (数値型) / datetime (日付型) の設定

string,hidden/decimal,hidden /datetime,hidden でデータが埋まらない行を非表示にする

※名標に書式設定で表示形式を設定する際、string の場合は文字列などに、decimal の場合は数値・通貨などの設定が可能となる

datetime の場合は必ず日付の設定すること

※CSV データが「 01 」の場合 string の場合は「 01 」 decimal の場合は「 1 」と表示される

<datetime 型 (日付型) データについて>

datetime 型が指定可能なデータは「 2009/09/10 (年/月/日)」または「 20090910 (年月日)」形式のデータとする

※データが空白または 0 の場合は空文字が出力される

## FormatString

Excel 版では利用不可 (Word 版のみ利用可)

## PageBreakFlag

ページ替えのキーとして指定する場合は「 \* (アスタリスク)」を入力する

AscSort

昇順に並び替え

DescSort

降順に並び替え

優先順位の高い順に 1, 2, 3 . . . と番号を入力する

## AscSort・DescSort 並び替えの説明

※ColumnType が「string」または「decimal」によって並び替えの結果が変わる場合がある

例

番号	CSV データ	AscSort (昇順)		DescSort (降順)	
		string (文字列)	decimal (数値)	string (文字列)	decimal (数値)
1	1	1	1	50	50
2	2	10	2	5	40
3	3	2	3	40	30
4	4	20	4	4	20
5	5	3	5	30	10
6	10	30	10	3	5
7	20	4	20	20	4
8	30	40	30	2	3
9	40	5	40	10	2
10	50	50	50	1	1



## 5. 実行時の設定



※上記の場合 年齢性別一覧\_定義.xlsx に記載されている制御内容で「CsvDocumenter」を作動させる

(年齢性別一覧\_定義.xlsx ファイルが CsvDocumenter 実行バッチファイルと同じフォルダに格納されており、条件指定がない場合)

※CsvDocumenter 実行バッチファイルはネットワーク上では実行できない為ネットワーク以外の場所で行って下さい

### 実行時の詳細な記述方法 CSV ファイル名・雛型ファイル名を指定しない場合

実行時のパラメータについて

**CsvDocumenter.exe 制御情報を記述した Excel 定義ファイル名 “起動条件”**

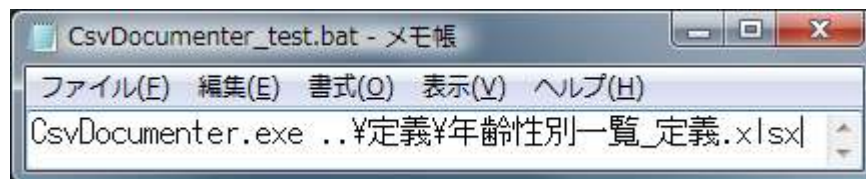
※起動条件とは入力となる CSV ファイルの内、条件式を満たすデータのみ処理する場合に記述する。全ての CSV データを対象にする場合は本パラメータは不要である。

**Excel 定義ファイル名** 定義ファイルの相対パスまたは絶対パス（ネットワークアドレスも可）

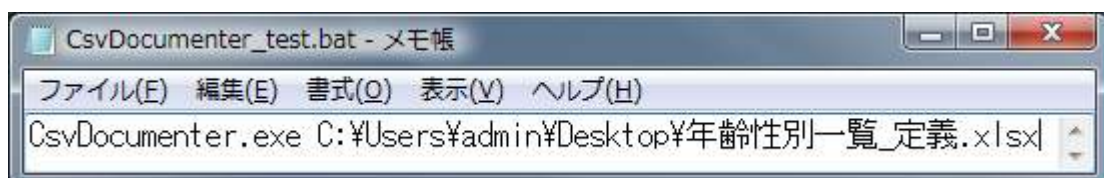
※相対パスで指定する際、CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダが基本となる

例 Excel 定義ファイルが実行バッチファイルの格納されているフォルダの 1 階層上位にある「定義」フォルダにある場合

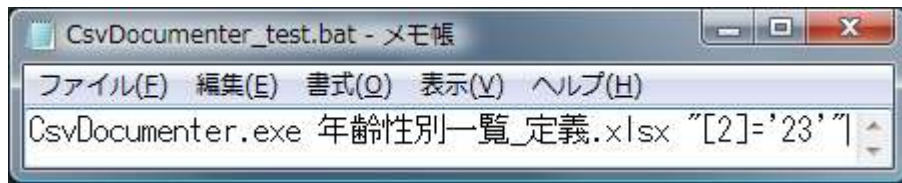
(相対パスの例)



例 Excel 定義ファイルがデスクトップにある場合（絶対パスの例）



## 起動条件パラメータの記述例



※起動条件は「"」（半角ダブルコーテーション）」で囲む

※条件値の ColumnType の設定が string（文字列型）の場合は値を「'」（半角シングルのコーテーション）」で囲む

当該例の場合は CSV の 2 番目のデータが 23 のデータの範囲を処理対象とする

※条件が 2 つ以上ある場合は、「AND」または「OR」を使用して条件を記述する

例："[1]='2005' AND [2]='23'" CSV の 1 番目のデータが 2005 で 2 番目のデータが 23 のデータを処理対象とする

"[1]='2005' OR [2]='23'" CSV の 1 番目のデータが 2005 または 2 番目のデータが 23 のデータを処理対象とする

※条件は半角で入力し、「AND」と「OR」の前後には半角スペースを入れる

### 記述例

演算子	説明	例	意味
=	等しい	"[2] = '23'"	CSV の 2 番目のデータが 23 のデータの範囲を処理対象とする
<>	等しくない	"[2] <> '23'"	CSV の 2 番目のデータが 23 以外のデータの範囲を処理対象とする
>=	以上	"[2] >= '23'"	CSV の 2 番目のデータが 23 以上のデータの範囲を処理対象とする
<=	以下	"[2] <= '23'"	CSV の 2 番目のデータが 23 以下のデータの範囲を処理対象とする

## 実行時の詳細な記述方法

CSV ファイル名を指定する場合

実行時のパラメータについて

CsvDocumenter.exe Excel 定義ファイル名 "起動条件" "CSV ファイル名"

※起動条件とは入力となる CSV ファイルの内、条件式を満たすデータのみ処理する場合に記述する。

全ての CSV データを対象にする場合は「"」（ダブルコーテーション）」を記述する。

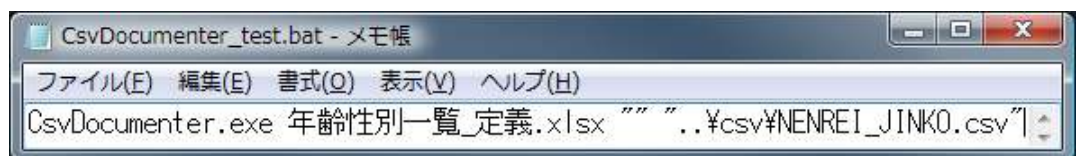
※※CSV ファイル名を指定した場合、定義ファイル「IOFile」シートの InputCSVFile より優先される

**CSV ファイル名** CSV ファイルの相対パスまたは絶対パス（ネットワークアドレスも可）

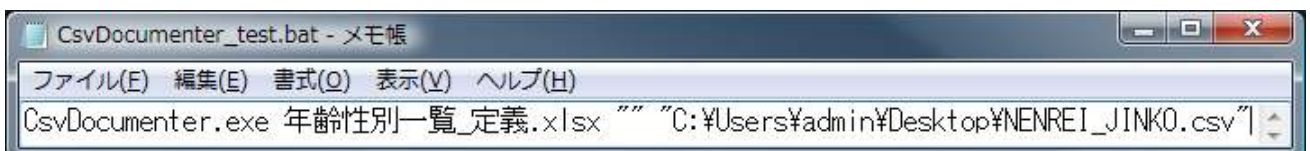
※相対パスで指定する際、CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダが基本となる

例 CSV ファイルが実行バッチファイルの格納されているフォルダの 1 階層上位にある「CSV」フォルダにある場合

(相対パスの例)



例 CSV ファイルがデスクトップにある場合（絶対パスの例）



# 実行時の詳細な記述方法

雛型ファイル名を指定する場合

実行時のパラメータについて

CsvDocumenter.exe Excel 定義ファイル名 “起動条件” “CSV ファイル名” “雛型ファイル名”

※起動条件とは入力となる CSV ファイルの内、条件式を満たすデータのみ処理する場合に記述する。

全ての CSV データを対象にする場合は “ ” (ダブルコーテーション) を記述する。

※CSV ファイル名を指定した場合、定義ファイル「IOFile」シートの InputCSVFile より優先される

CSV ファイル名を指定しない場合は “ ” (ダブルコーテーション) を記述する。

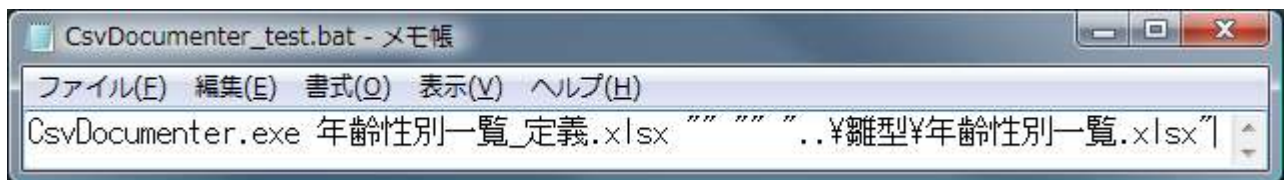
## 雛型ファイル名

雛型ファイルの相対パスまたは絶対パス（ネットワークアドレスも可）

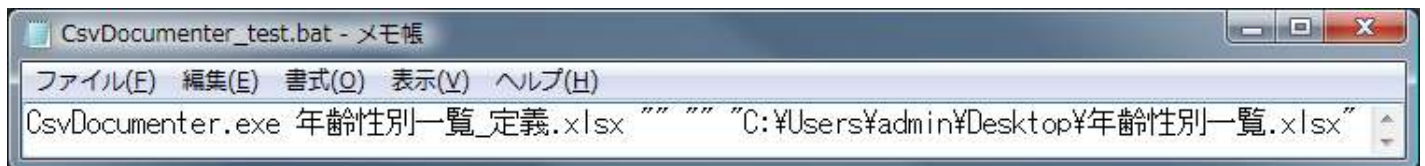
※相対パスで指定する際、CsvDocumenter 実行バッチファイルが格納されているフォルダが基本となる

例 雛型ファイルが実行バッチファイルの格納されているフォルダの 1 階層上位にある「雛型」フォルダにある場合

(相対パスの例)



例 雛型ファイルがデスクトップにある場合（絶対パスの例）



## 6. ログ出力の設定

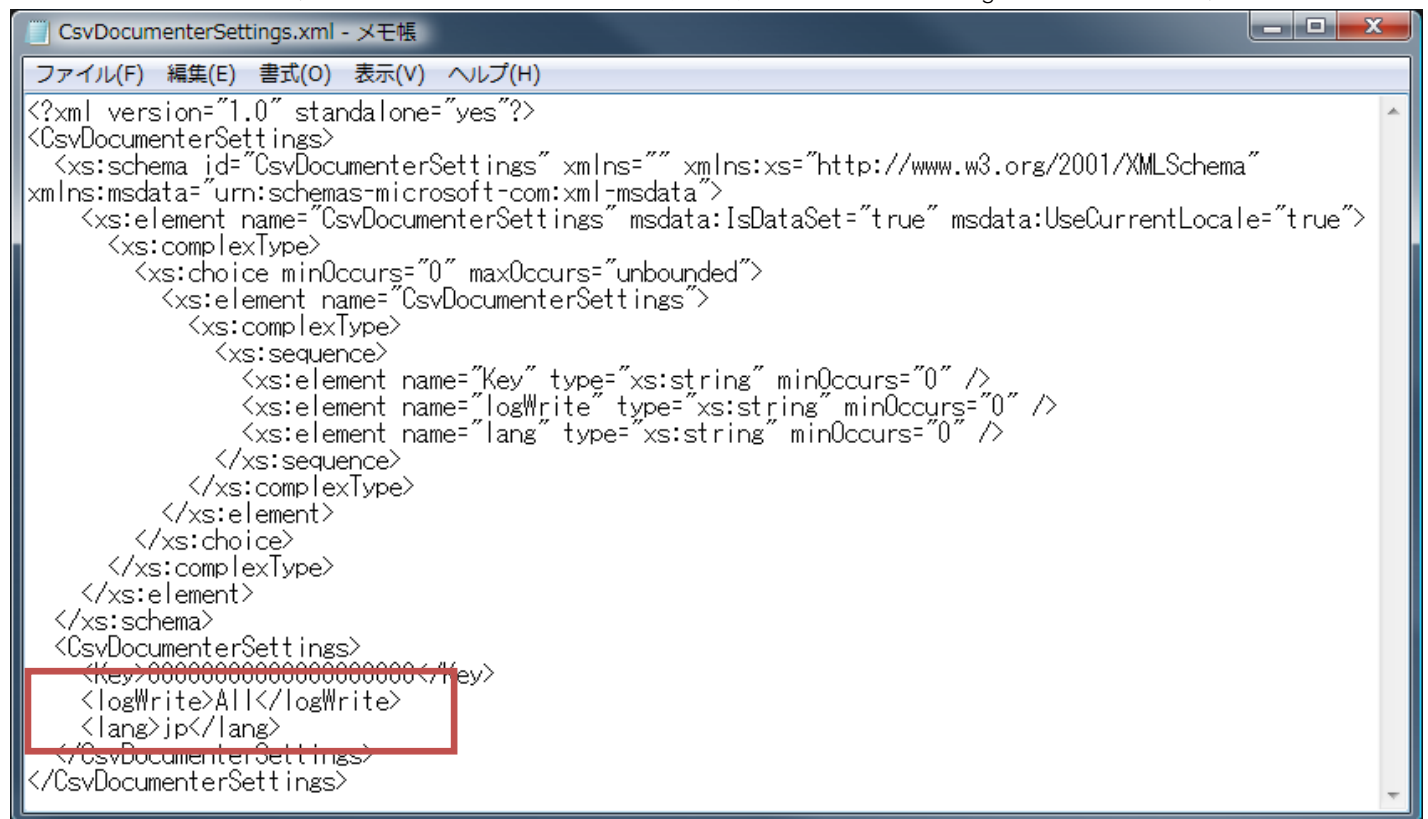
### CsvDocumenterSettings.xml ファイルの記述方法

※CsvDocumenterSettings.xml ファイルは、CsvDocumenter インストール後以下の場所に作成されます

コンピュータ → OS(C:) → ProgramData → rdsoftware → CsvDocumenter → settings フォルダ内

CsvDocumenterSettings.xml を右クリックし、編集で開きます

※Windows Vista の場合、編集後保存できないことがあります。その際は一度 CsvDocumenterSettings.xml をコピーして編集してください。



#### <logWrite>タグ

ログ出力種類の設定（ all：全てのログの書出し / error：エラーログのみ書出し / nowrite：ログの書出しを行わない）

#### <lang>タグ

ログ出力言語の設定（ jp：日本語 / en：英語 ）



# 7-1. 処理結果 (EXCEL)





## 7-2. 処理結果 (PDF)

※本機能を利用するためには該当PcにOffice2007(Excel)のインストールが必要。

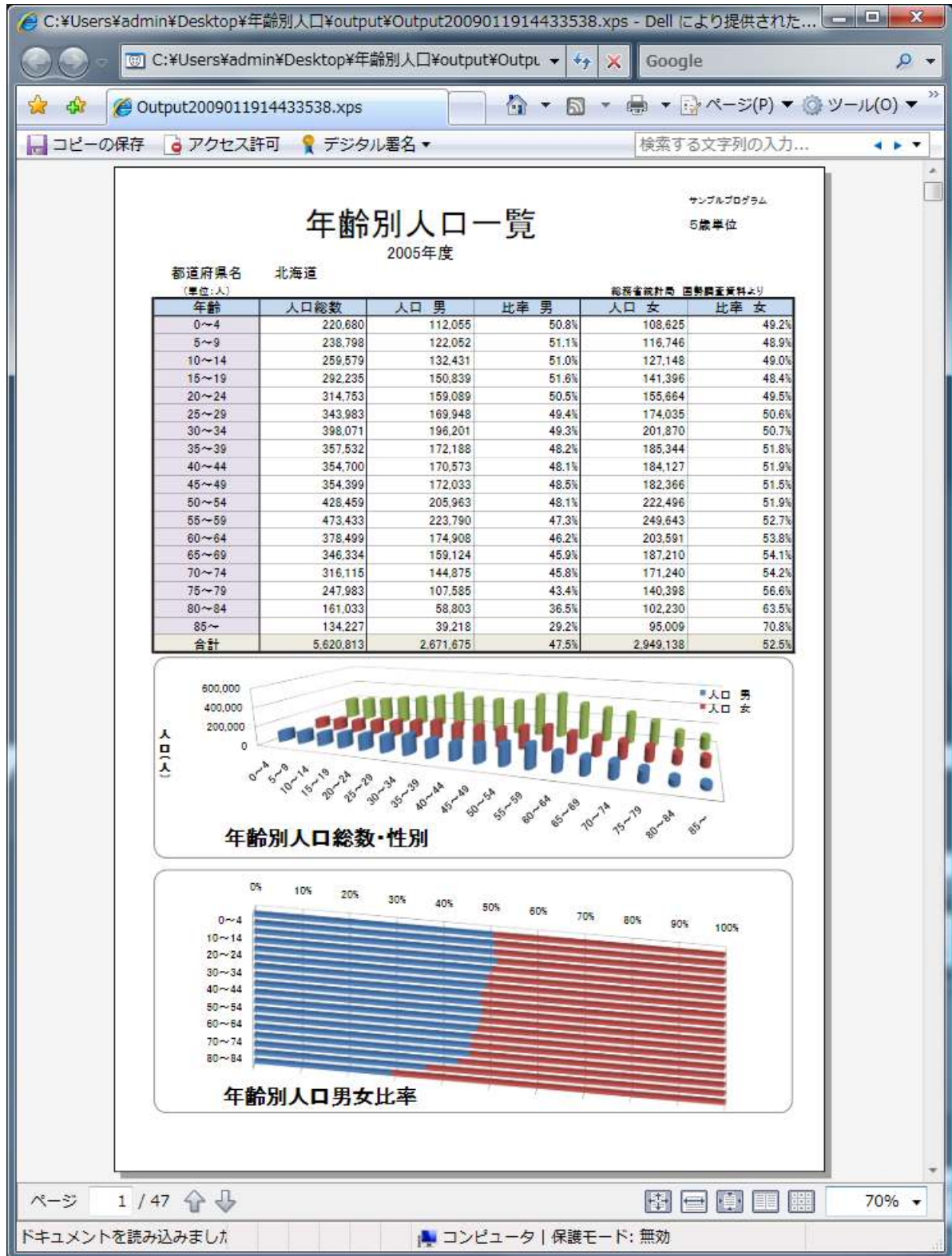
また併せて弊社ツール「CsvDocumenter.net (Enterprise 版)」が必要となる



## 7-3. 処理結果 (XPS)

※本機能を利用するためには該当PcにOffice2007(Excel)のインストールが必要。

また併せて弊社ツール「CsvDocumenter.net (Enterprise 版)」が必要となる





# 7-4. 処理結果 (EXCEL2003)

※本機能を利用するためには該当PcにOffice2007(Excel)のインストールが必要。

また併せて弊社ツール「CsvDocumenter.net (Enterprise版)」が必要となる

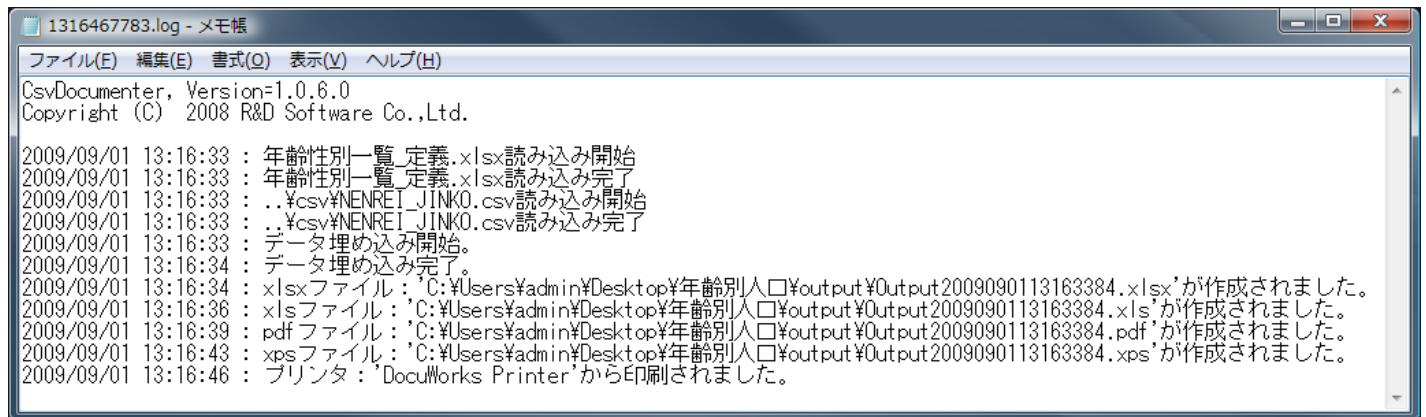


## 8. 処理結果のログ情報

処理結果が実行状況に沿ってロギングされる

- ・ログファイルは、実行バッチファイルが格納されているフォルダ内の「log フォルダ」（「log フォルダ」がない場合は自動的に作成される）内の「実行年月日の名前のフォルダ」の中に実行時間（10 桁）の名前で作成される
- ・処理の状態を確認する場合に使用する
- ・特に帳票が出力されない場合は何らかの原因でエラーとなった可能性があるので本ログを確認しエラーの原因を明確されたい

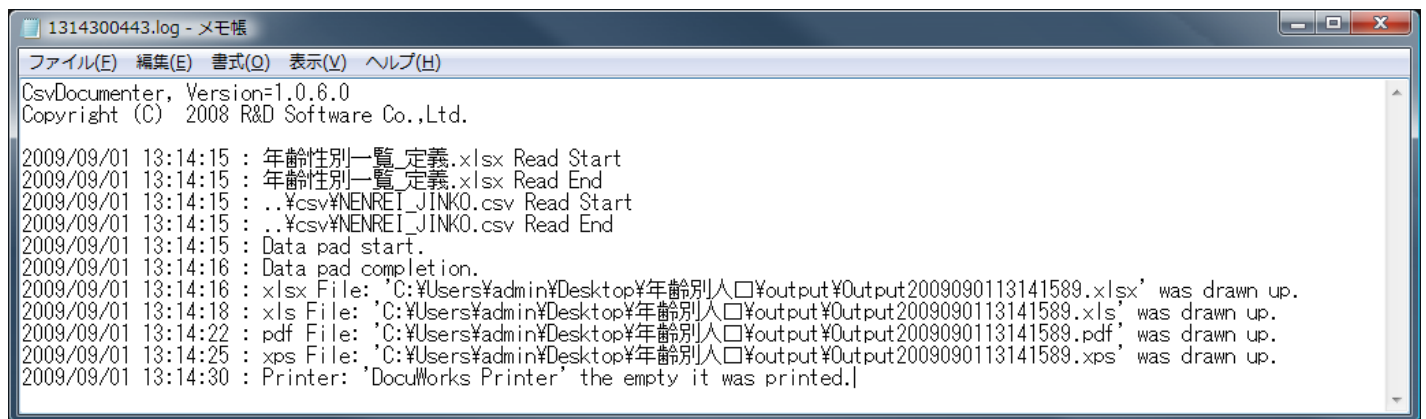
<日本語>



```
1316467783.log - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
CsvDocumenter, Version=1.0.6.0
Copyright (C) 2008 R&D Software Co.,Ltd.

2009/09/01 13:16:33 : 年齢性別一覧_定義.xlsx読み込み開始
2009/09/01 13:16:33 : 年齢性別一覧_定義.xlsx読み込み完了
2009/09/01 13:16:33 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv読み込み開始
2009/09/01 13:16:33 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv読み込み完了
2009/09/01 13:16:33 : データ埋め込み開始。
2009/09/01 13:16:34 : データ埋め込み完了。
2009/09/01 13:16:34 : xlsファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.xlsx'が作成されました。
2009/09/01 13:16:36 : xlsファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.xls'が作成されました。
2009/09/01 13:16:39 : pdf ファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.pdf'が作成されました。
2009/09/01 13:16:43 : xps ファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.xps'が作成されました。
2009/09/01 13:16:46 : プリンタ: 'DocuWorks Printer'から印刷されました。
```

<英語>



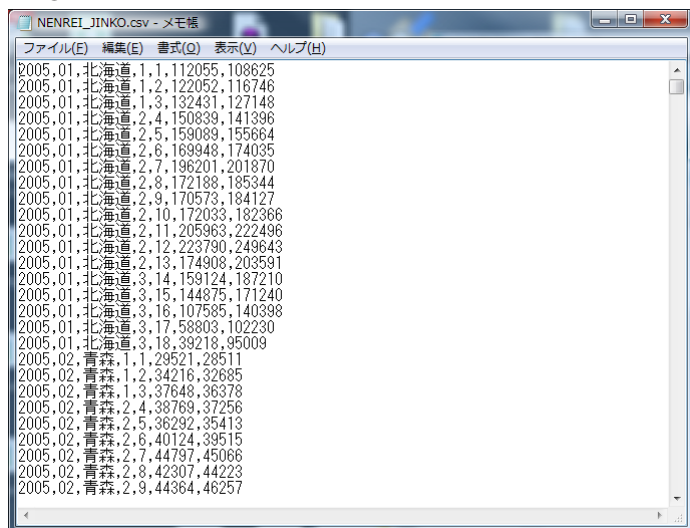
```
1314300443.log - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
CsvDocumenter, Version=1.0.6.0
Copyright (C) 2008 R&D Software Co.,Ltd.

2009/09/01 13:14:15 : 年齢性別一覧_定義.xlsx Read Start
2009/09/01 13:14:15 : 年齢性別一覧_定義.xlsx Read End
2009/09/01 13:14:15 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv Read Start
2009/09/01 13:14:15 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv Read End
2009/09/01 13:14:15 : Data pad start.
2009/09/01 13:14:16 : Data pad completion.
2009/09/01 13:14:16 : xls File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.xlsx' was drawn up.
2009/09/01 13:14:18 : xls File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.xls' was drawn up.
2009/09/01 13:14:22 : pdf File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.pdf' was drawn up.
2009/09/01 13:14:25 : xps File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.xps' was drawn up.
2009/09/01 13:14:30 : Printer: 'DocuWorks Printer' the empty it was printed.
```

# 9. 資料

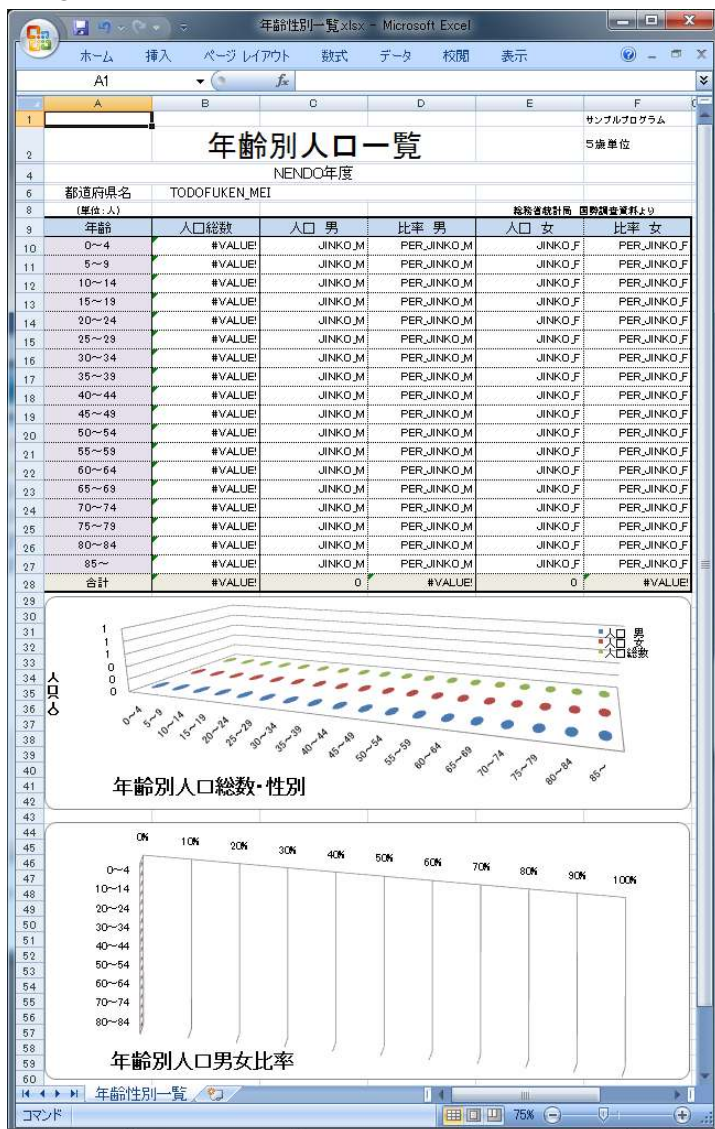
## (1) 資料 都道府県別人口一覧

### ①CSVデータ



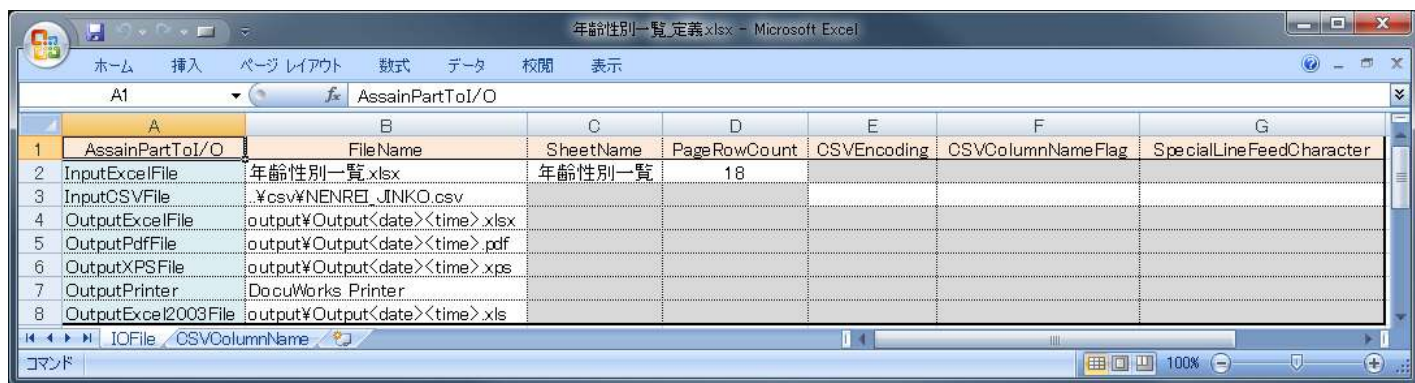
都道府県名	人口総数	人口 男	人口 女
北海道	1,112,055	1,086,255	1,086,255
青森県	1,220,521	1,167,466	1,167,466
岩手県	1,324,311	1,271,438	1,271,438
宮城県	1,450,839	1,413,966	1,413,966
福島県	2,515,908	1,556,664	1,556,664
茨城県	2,616,994	1,740,355	1,740,355
栃木県	2,719,620	1,201,870	1,201,870
群馬県	2,817,218	1,853,444	1,853,444
埼玉県	2,917,053	1,841,277	1,841,277
千葉県	2,101,720	1,823,366	1,823,366
東京都	12,223,790	24,964,311	24,964,311
新潟県	1,317,490	20,359,110	20,359,110
富山県	1,415,912	18,721,010	18,721,010
石川県	1,514,475	17,124,010	17,124,010
福井県	1,610,758	14,039,810	14,039,810
山梨県	1,758,803	10,223,010	10,223,010
長野県	1,839,218	9,500,910	9,500,910
岐阜県	1,295,211	2,851,110	2,851,110
静岡県	1,234,216	3,288,510	3,288,510
愛知県	1,376,448	3,637,810	3,637,810
三重県	1,387,689	3,725,610	3,725,610
滋賀県	1,362,292	3,541,310	3,541,310
京都府	1,540,124	3,951,510	3,951,510
大阪府	1,744,797	4,506,610	4,506,610
兵庫県	1,842,307	4,422,310	4,422,310
奈良県	1,443,644	4,625,710	4,625,710

### ②EXCEL2007 形式で帳票の雛型を作成



※グラフ連動の場合はデータを組込んで事前にテストされたい

### ③帳票の入出力定義 (IOFile シート)



入力/出力	ファイル名	シート名	ページ行数	CSVエンコーディング	CSV列名フラグ	特殊改行文字
InputExcelFile	年齢性別人口一覧.xlsx	年齢性別人口一覧	18			
InputCSVFile	¥csv¥NENREI_JINKO.csv					
OutputExcelFile	output¥Output<date><time>.xlsx					
OutputPdfFile	output¥Output<date><time>.pdf					
OutputXPSFile	output¥Output<date><time>.xps					
OutputPrinter	DocuWorks Printer					
OutputExcel2003File	output¥Output<date><time>.xls					



④帳票の処理定義 (CSVColumnName シート) CSV の項目位置 (コラム番号) と帳票出力名標(ラベル)との関連を定義する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	OutputLabelName	CSVColumnNo	ColumnExpression	ColumnFilter	ColumnType	FormatString	PageBreakFlag	AscSort	DescSort
1	NENDO	[1]			string		*	1	
2	TODOFUKEN_CD	[2]			string		*	2	
3	TODOFUKEN_MEI	[3]			string				
4	JINKO_M	[6]			decimal				
5	PER_JINKO_M	[6]/([6]+[7])			decimal				
6	JINKO_F	[7]			decimal				
7	PER_JINKO_F	1-([6]/([6]+[7]))			decimal				

⑤処理ログ

<日本語>

```

1316467783.log - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
CsvDocumenter, Version=1.0.6.0
Copyright (C) 2008 R&D Software Co.,Ltd.

2009/09/01 13:16:33 : 年齢性別一覧_定義.xlsx読み込み開始
2009/09/01 13:16:33 : 年齢性別一覧_定義.xlsx読み込み完了
2009/09/01 13:16:33 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv読み込み開始
2009/09/01 13:16:33 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv読み込み完了
2009/09/01 13:16:33 : データ埋め込み開始。
2009/09/01 13:16:34 : データ埋め込み完了。
2009/09/01 13:16:34 : xlsファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.xlsx'が作成されました。
2009/09/01 13:16:36 : xlsファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.xls'が作成されました。
2009/09/01 13:16:39 : pdf ファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.pdf'が作成されました。
2009/09/01 13:16:43 : xps ファイル: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113163384.xps'が作成されました。
2009/09/01 13:16:46 : プリンタ: 'DocuWorks Printer'から印刷されました。
  
```

<英語>

```

1314300443.log - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
CsvDocumenter, Version=1.0.6.0
Copyright (C) 2008 R&D Software Co.,Ltd.

2009/09/01 13:14:15 : 年齢性別一覧_定義.xlsx Read Start
2009/09/01 13:14:15 : 年齢性別一覧_定義.xlsx Read End
2009/09/01 13:14:15 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv Read Start
2009/09/01 13:14:15 : ..¥csv¥NENREI_JINKO.csv Read End
2009/09/01 13:14:15 : Data pad start.
2009/09/01 13:14:16 : Data pad completion.
2009/09/01 13:14:16 : xls File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.xlsx' was drawn up.
2009/09/01 13:14:18 : xls File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.xls' was drawn up.
2009/09/01 13:14:22 : pdf File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.pdf' was drawn up.
2009/09/01 13:14:25 : xps File: 'C:¥Users¥admin¥Desktop¥年齢別人口¥output¥Output2009090113141589.xps' was drawn up.
2009/09/01 13:14:30 : Printer: 'DocuWorks Printer' the empty it was printed.
  
```

⑥処理結果

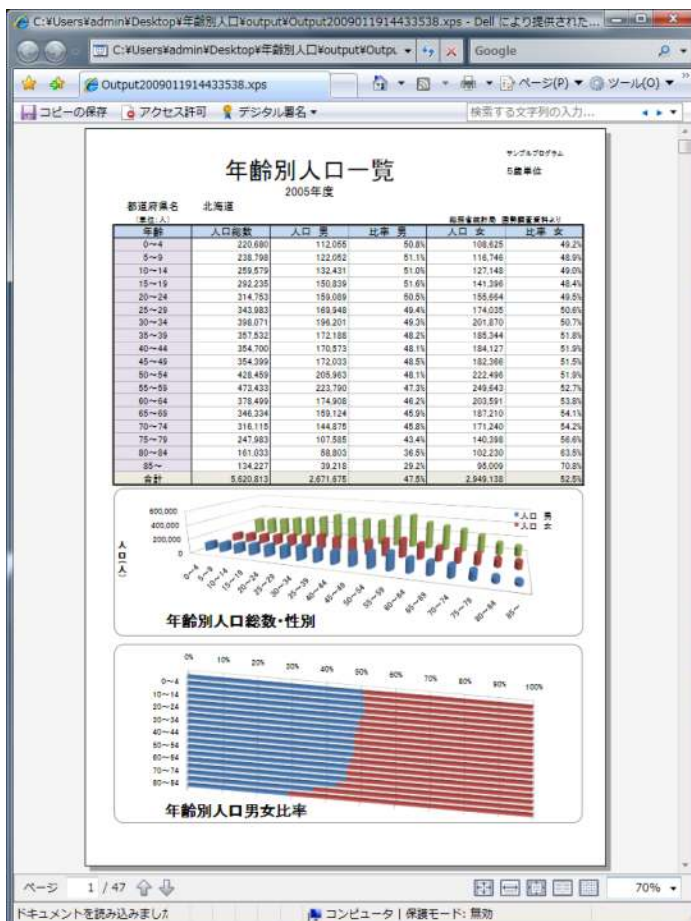
EXCEL



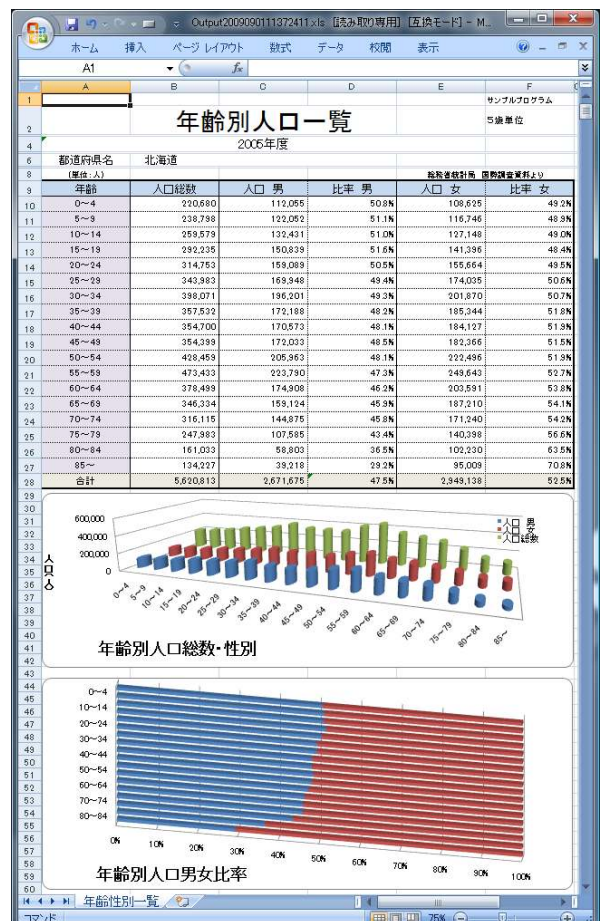
PDF



XPS



EXCEL2003



*Memo*

*Memo*

# CsvDocumenter<sup>®</sup>

## Excel 版マニュアル



株式会社 **R&Dソフトウェア**

〒454-0012 名古屋市中川区尾張橋四丁目13番7号 inabi金山 401  
TEL 052-331-3871 URL <http://www.rndsoftware.net>